

平成 27 年度

事業報告書

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

～目 次～

1	法人運営事業（総務係）	・・・・P1
2	地域福祉事業（地域福祉係）	・・・・P9
3	在宅福祉サービス事業（在宅福祉係）	・・・・P28
4	在宅福祉サービス事業及び社会福祉センターの運営（障がい福祉係）	・・・・P32
5	その他	・・・・P40
6	事務機構図	・・・・P41

平成 27 年度 事業報告書

平成 27 年度の亀山市社会福祉協議会は、住民の参加・協働による市民参画型の福祉社会の実現を理念に、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉活動計画及び年度当初策定しました事業計画に基づき以下の事業を実施いたしました。

<重点項目>

- 1 組織運営及び職員育成の強化
- 2 地域福祉計画及び地域福祉活動計画の推進
- 3 小地域ネットワーク活動の推進
- 4 ボランティア活動の推進
- 5 福祉ボランティア基金の活用
- 6 生活困窮者自立支援事業の受託
- 7 介護保険サービス・障害福祉サービスの充実
- 8 社会福祉センターの設備改修

<事業実施項目>

- 1 法人運営事業
- 2 地域福祉事業
- 3 在宅福祉サービス事業
- 4 社会福祉センターの運営
- 5 その他

1 法人運営事業

1 会務の運営

①理事会（3回）

第 1 回 平成 27 年 5 月 27 日（水） 出席者 11 名

議 題

議案第 1 号 平成 26 年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事業報告及び収支決算について

議案第 2 号 評議員の辞任に伴う後任の選任について

議案第 3 号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について

議案第 4 号 平成 27 年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会収支（一次）補正予算について

議案第 5 号 平成 27 年度共同募金配分金の助成について

第2回 平成27年11月19日（木） 出席者11名

議 題

- 議案第1号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所運営規程の制定について
- 議案第2号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会指定障害児相談支援事業所運営規程の制定について
- 議案第3号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会定款の一部変更について
- 議案第4号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会処務規程の一部改正について
- 議案第5号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会訪問介護事業所運営規程の一部改正について
- 議案第6号 平成27年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会資金収支（二次）補正予算について

第3回 平成28年2月16日（火） 出席者11名

議 題

- 議案第1号 第三者委員の選任について
- 議案第2号 特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針及び社会福祉法人亀山市社会福祉協議会特定個人情報取扱規程の制定について
- 議案第3号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
- 議案第4号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員就業規程の一部改正について
- 議案第5号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 議案第6号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
- 議案第7号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会亀山市社会福祉センター管理運営規程の一部改正について
- 議案第8号 指定障害福祉サービス多機能型事業所つくしの家運営規程の一部改正について
- 議案第9号 平成27年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会資金収支（三次）補正予算について
- 議案第10号 平成28年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算について

②監事会（2回）

第1回 平成27年5月15日（金） 出席者2名

議 題

- ①平成26年度事業報告及び収支決算の監査について

第2回 平成27年10月30日（金） 出席者 2名

議 題

- ①平成27年度会計中間監査について（4月1日～9月30日）

③評議員会（3回）

第1回 平成27年5月28日（木） 出席者 19名

議 題

- 議案第1号 平成26年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事業報告及び収支決算について
- 議案第2号 理事の辞任に伴う後任の選任について
- 議案第3号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
- 議案第4号 平成27年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会収支（一次）補正予算について

第2回 平成27年11月25日（水） 出席者 17名

議 題

- 議案第1号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所運営規程の制定について
- 議案第2号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会指定障害児相談支援事業所運営規程の制定について
- 議案第3号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会定款の一部変更について
- 議案第4号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会処務規程の一部改正について
- 議案第5号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会訪問介護事業所運営規程の一部改正について
- 議案第6号 平成27年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会資金収支（二次）補正予算について

第3回 平成28年3月1日（火） 出席者 18名

議 題

- 議案第1号 特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針及び社会福祉法人亀山市社会福祉協議会特定個人情報取扱規程の制定について
- 議案第2号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
- 議案第3号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員就業規程の一部改正について
- 議案第4号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 議案第5号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
- 議案第6号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会亀山市社会福祉センター管理運営規程の一部改正について

議案第 7 号 指定障害福祉サービス多機能型事業所つくしの家運営規程の一部改正について

議案第 8 号 平成 27 年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会資金収支（三次）補正予算について

議案第 9 号 平成 28 年度社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算について

④正副会長会（三役会）

第 1 回 平成 27 年 5 月 21 日（木）

議 題 ①理事会及び評議員会提出議案について
②各係の目標について

第 2 回 平成 27 年 9 月 11 日（金）

議 題 ①特定相談支援事業及び障害児相談支援事業について
②社協会費について

第 3 回 平成 27 年 11 月 11 日（水）

議 題 ①理事会及び評議員会提出議案について
②平成 28 年度予算要求について

第 4 回 平成 28 年 2 月 9 日（火）

議 題 ①理事会及び評議員会提出議案について
②役職員研修会について

⑤役職員研修の開催

本会の社会福祉事業の推進を図るため、役員及び職員の研修を実施いたしました。

実施日 平成 28 年 2 月 26 日（金）

研修先 皇学館大学

内 容 「これからの地域福祉のポイントを社協の立場から考えあってみましょう」

講 師 皇学館大学 教育開発センター 准教授 板井 正斉

参加者 理事 9 名 監事 1 名 評議員 11 名 職員等 6 名 計 27 名

⑥幹部会議（会長・事務局長・所長・係長）

第1回 平成27年4月23日（木）

議 題 ①各係の目標について

第2回 平成27年6月17日（水）

議 題 ①介護保険事業の現状と課題について

第3回 平成27年7月31日（金）

議 題 ①健康福祉部との意見交換会

第4回 平成27年8月27日（木）

議 題 ①特定相談支援事業及び障害児相談支援事業について

第5回 平成27年12月21日（月）

議 題 ①福祉教育推進事業について

第6回 平成28年1月26日（火）

議 題 ①災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの策定について

2 基盤の強化

①会員制度の啓発及び推進

（単位：名、円）

実施期間	普通会員	特別会員	27年度 実績額	26年度 実績額	増減額
7月	11,217	3	3,571,200	3,424,300	146,900

3 社会福祉大会事業 <市補助事業>

①第11回亀山市社会福祉大会

亀山市における社会福祉関係者が一堂に会し、今後の更なる努力を誓い、併せて亀山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝を表するため開催いたしました。

実施日 平成27年11月6日（金）

場 所 亀山市中央コミュニティホール

内 容 表彰状・感謝状授与

記念講演：演題 「記憶中心の脳海馬が合成する男性・女性ホルモンで認知症と
うつ病に勝てる」

講師 順天堂大学 医学部 泌尿器科学講座 客員教授
亀山市文化大使 川戸 佳

参加者 250名

4 福祉移送サービス事業 <市委託事業>

「住みよい福祉のまちづくり」を推進することを目的として、歩行困難の方や寝たきり状態の方を対象に、福祉移送サービスを実施いたしました。

(単位：名、回)

	27年度	26年度	増減
登録者数	52	50	2
延べ運行回数	1,725	1,927	△202

<27年度内訳>

(単位：円、回)

月	会員	料 金		内 容				運行回数
		年会費	運行費	リハビリ	診察	透析	その他	
4	28	28,000	52,600	0	69	73	3	145
5	9	9,000	49,400	0	70	86	4	160
6	2	2,000	46,400	0	79	59	4	142
7	1	1,000	49,200	0	83	57	8	148
8	3	3,000	49,800	2	85	58	6	151
9	4	4,000	44,400	0	83	54	7	144
10	0	0	43,000	0	89	46	6	141
11	1	1,000	35,200	0	63	47	2	112
12	0	0	44,400	0	77	63	4	144
1	0	0	46,000	0	87	48	7	142
2	1	1,000	50,600	0	94	61	8	163
3	3	3,000	38,200	0	71	55	7	133
計	52	52,000	549,200	2	950	707	66	1,725

※その他：病院への入退院、施設への入退所など

5 介護機器貸し出し事業

健康増進と家族の身体的、精神的な負担の軽減を図り、社会参加を促進することを目的として、在宅の寝たきり高齢者及び障がい児（者）などに対して車椅子及び歩行器を貸し出しました。

(単位：件)

	27年度	26年度	増減
車椅子	241	262	△21
歩行器	1	2	△1

6 入れ歯リサイクル事業

入れ歯に使われている金属をリサイクル資源として回収し、収益金を世界中の恵まれない子供たちのために役立てようとする「入れ歯リサイクル事業」を行いました。総合保健福祉センター及び健康づくり関センターに回収ボックスを設置し、投入された入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が回収し、益金を日本ユニセフ協会へ納めています。

(単位：件)

	27年度	26年度	増減
投函数	45	31	14

7 日本赤十字社との連絡及び協力

①日本赤十字社社資募集

(単位：円)

実施期間	27年度 実績額	26年度 実績額	増減額
5月	4,849,747	5,000,050	△150,303

※日本赤十字社三重県支部亀山市地区事務局

8 福祉団体の事務及び助成

①団体事務局

- 1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
- 2) 亀山市老人クラブ連合会
- 3) 亀山保護司会
- 4) 亀山更生保護女性会
- 5) 亀山市遺族会

②団体助成

- | | | |
|----------------------|-----------|------------|
| 1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会 | (市補助金) | 2,834,381円 |
| 2) 〃 | (共同募金配分金) | 465,000円 |
| 3) 亀山保護司会 | (市補助金) | 315,000円 |
| 4) 亀山市遺族会 | (市補助金) | 740,000円 |
| 5) 亀山市自治会連合会 | (共同募金配分金) | 250,000円 |

9 東日本大震災被災地支援のための募金活動

多くの市民のご協力をいただき、多額のご寄付を共同募金会を通じ被災地へ届けることができました。

(単位：円)

	平成 27 年度末	平成 26 年度末	平成 27 年度 募金額
東日本大震災	14,211,331	14,034,670	176,661

(事業評価・今後の課題)

会務の運営については、27年度は理事会を3回、監事会を2回、評議員会を3回開催しました。また、2月に実施した役職員研修においては、皇学館大学 教育開発センター准教授の板井 正斉氏より、これからの地域福祉のポイントについてワークを取り入れた講義を行っていただき、改めて社協の立場から地域福祉を考える良い機会となりました。近年、若手の職員も増えてきていることから、職員研修を計画的に行い、人材育成に努めていきます。

基盤の強化として、社協会費については、PR用のちらしを作成、全戸配布を行うとともに、要請のあった自治会に対し社協会費についての説明を行ったことから、会費収入は前年度と比較して増加しました。今後も自治会や福祉委員会等を通じ、市民の皆様にご理解をいただけるようPRを行うとともに、自主財源の確保に努め、活動基盤の整備を図っていきます。

11月には、亀山市と共催で第11回社会福祉大会を250名の参加のもと開催し、亀山市の社会福祉の発展に功績のあった民生委員児童委員、福祉委員、ボランティア等34名1社15団体の方々に感謝の意を表すとともに、記念講演では、順天堂大学 客員教授で、亀山市文化大使でもある川戸 佳氏より認知症についてのご講演をいただきました。また、大会宣言では、参加された福祉関係者が一層の連携と協力を図り、更なる地域福祉の推進に全力を傾けることを誓い合いました。

福祉移送サービス事業（市委託事業）については、前年度に比べ、運行回数は若干減少したものの、登録者数は増加いたしました。ニーズの高い事業でもあるため、今後も引き続き、利用者の方々が安心して利用できるようなサービス提供に努めていきます。

28年度より、社会福祉法の一部を改正する法律が成立し、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務などが盛り込まれ、これまで以上に社会福祉法人としての意識改革が求められています。今後も法人としての適切な組織運営を行っていくとともに、役職員が一体となって、地域福祉活動計画の基本理念である「ともに支え合い、いきいきと暮らすまち亀山」の実現に向けて、地域のニーズに沿った事業活動を展開し、地域住民や利用者から信頼される社会福祉協議会を目指してまいります。

2 地域福祉事業

1 地域福祉計画及び地域福祉活動計画の推進 <市補助事業>

地域住民や福祉関係者、行政等と協働して地域福祉活動のコーディネートを行い、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の実現に向けて取り組みを行いました。また、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗管理、評価及び検証を地域福祉計画推進委員会にて協議いたしました。

①亀山市地域福祉計画推進委員会

地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗管理、評価及び検証を行いました。

実施日 平成 27 年 11 月 16 日（月）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 計画の進捗状況及び評価について

②第 2 次計画策定に向けた職員研修

平成 29 年度に策定する第 2 次地域福祉計画及び地域福祉活動計画に向け、市・社協職員の認識を伝え合う場として研修会を実施しました。

実施日 平成 28 年 2 月 4 日（木）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 「亀山市の地域福祉計画と地域福祉活動計画のミライを考えあってみましょう」

講 師：皇学館大学 教育開発センター

准教授 板井 正斉

参加者 社協職員 13 名 市職員 10 名 計 23 名

2 小地域ネットワーク活動事業

① 地区福祉委員会の設置促進及び活動支援

福祉のまちづくりを進めていく地域福祉の推進役として、全 25 地区 342 名の方に委嘱いたしました。また、地域特性に応じた福祉活動を展開することを目的に助成事業を行い、地区福祉委員会が行う交流活動や訪問活動、研修会などについてコーディネートを行いました。

- ・福祉委員の選出 計 342 名（平成 26 年度 338 名）
- ・小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業
2,470,000 円（@100,000×24 地区、@70,000×1 地区）

<地区コミュニティ別福祉委員活動状況>

(単位：名、地区)

No	地区名	委員	小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業(主な事業)	福祉委員会
1	昼生	11	小学生とひとり暮らし高齢者宅訪問、むかし遊び、認サポ、ふれあい歌の広場	設置済
2	井田川南	26	ふれあいグラウンドゴルフ大会、ふれあい輪投げ大会、高齢者訪問	設置済
3	井田川北	34	高齢者への花プレゼントサービス(訪問活動)、敬老会	設置済
4	川崎	27	一人暮らし及び高齢者の集い、健康体操	設置済
5	野登	16	子ども見守りパトロール、三世代交流(グラウンドG、しめ縄作り等)	設置済
6	白川	10	小学生との一人暮らし訪問活動、高齢者と小学生の交流(白川そば作り)	設置済
7	神辺	14	三世代ふれあい交流(農産物や作品の展示等)、訪問活動、ふれあいキッズカフェ	設置済
8	野村	24	運動会、三世代ふれあい事業(餅つき、昔のあそび等)、高齢者訪問	設置済
9	城東	13	三世代ふれあい事業(野外活動、芸能祭、餅つき大会)、健康講座及び防犯懇談会	未設置
10	城西	9	三世代ふれあい交流食事会、もちつき大会、訪問活動	設置済
11	城北	10	ふれあい交流会(折り紙工作)、敬老会、一人暮らし高齢者訪問	設置済
12	御幸	8	三世代交流会(芸術文化・芸能活動、ゲーム等)、高齢者訪問	設置済
13	本町	10	春のつどい、交流ふれあい広場(演奏、ゲーム等)、いきいきサロン「地域の茶の間」	設置済
14	北東	9	ふれあいもちつき大会、なかよしサロン、一人暮らし高齢者訪問	設置済
15	東部	35	文化演芸大会(世代間及び地域交流行事)、訪問活動	設置済
16	天神・和賀	12	ふれあいミニサロン、三世代交流祭、一人暮らし訪問活動	設置済
17	南部	9	ふれあい大運動会、敬老会、高齢者訪問活動	設置済
18	新所	7	見守り訪問活動、三世代ふれあい交流、なかよし広場	設置済
19	関中央	11	見守り訪問活動、ふれあい歌の広場、健康福祉講座、ふれあい交流会	設置済
20	木崎	5	ふれあいサロン、高齢者訪問活動、研修会、災害時見守り表の維持管理	設置済
21	北部	6	高齢者訪問、手作り弁当配食、親子レクリエーション、餅つき大会	設置済
22	関南部	13	高齢者ふれあい交流会、高齢者訪問活動、ふれあいサロン	設置済
23	加太	7	高齢者と保育園児との交流会、敬老会、高齢者配食サービス	設置済
24	坂下	9	ふれあいサロン、全戸訪問活動、夕涼み会、配食訪問活動	設置済
25	泉ヶ丘・富士ハイツ	7	地域ふれあい交流会、親子ふれあい交流会、男のやさしい料理教室	設置済
計		342		24

② 福祉委員新任研修会

ワークショップを用いながら、ご近所付き合いの中での「見守り」について考えることによって、福祉委員活動を行うための実践的な技術と意識の向上が図られました。

実施日 平成 27 年 6 月 15 日（月）、6 月 27 日（土）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講演及びワークショップ

テーマ：『亀山流の「見守り」を考えあってみましょう』

講 師：皇学館大学 教育開発センター 准教授 板井 正斉

参加者 105 名

③ 福祉委員対象認知症サポーター養成講座

地域包括支援センターと共催で、認知症の正しい理解と日頃の見守り活動に役立てることを目的とし、「認知症サポーター養成講座」を 2 回開催いたしました。

実施日 平成 27 年 12 月 18 日（金） ①10:00～11:30 ②13:30～15:00

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講演：『地域における認知症サポーターの役割について』

講師：地域包括支援センター

参加者 49 名

④ 地区福祉委員会活動に関する意見交換会

地区福祉委員会で中心となって活動されている方を対象に全体的な地域福祉活動の向上を図ることを目的に意見交換会を開催しました。

実施日 平成 28 年 3 月 4 日（金）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 ヒラメキカードで地区福祉委員会のミライを考えあってみましょう！

講師：皇学館大学 教育開発センター 准教授 板井 正斉

参加者 38 名

3 ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター登録者（団体及び個人）

<50音順>

No	団 体 名	活 動 内 容	27年度	26年度	増減
1	アモーレかめやま	市内施設・イベント等での演奏活動	17	18	△1
2	あゆみの会	福祉施設ボランティア等	10	13	△3
3	安心を備える女性の会(CEF)	女性の視点の防災・減災ボランティア	13	13	0
4	おはなしの会マミーズ	絵本の読み聞かせボランティア	14	15	△1
5	オレンジの会	ボランティア教室やイベント等の調理ボランティア	7	12	△5
6	かぼちゃの会	高齢者サロン活動ボランティア	12	21	△9
7	かみきりむしの会	市内施設・教育機関等での工作ボランティア	15	15	0
8	亀の会	ふれあい教室とのボランティア活動等	5	8	△3
9	亀山絵本と童話の会	絵本や童話の創作、絵本・折り紙教室等	16	16	0
10	亀山おもちゃの病院	おもちゃの病院（修理）の開院	12	12	0
11	亀山元気の会	施設花壇草木の手入れ等	16	16	0
12	亀山自助具の会	高齢者、障がい者、福祉施設のボランティア	13	13	0
13	亀山点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	14	14	0
14	亀山民話を語る会	福祉施設・学校等での民話普及活動	15	15	0
15	亀山朗読奉仕会	市広報等の録音テープ作成等	18	13	5
16	亀山ロマンチカ	施設等でのマジック・バルーンアート等	9	9	0
17	きぼうの会	野村きぼう苑での歌と踊りのボランティア	19	15	4
18	車椅子レクダンス普及会亀山支部	車椅子レクダンスの練習、福祉施設訪問	25	28	△3
19	クローバーの会	こころのサポートボランティア活動	3	3	0
20	傾聴かめやま	福祉施設での傾聴活動	6	10	△4
21	子育て支援「かめのこ」	ファミリーサポート活動、託児ボランティア	63	58	5
22	こでまり	高齢者・障がい者・福祉施設ボランティア	12	10	2
23	災害通信ボランティアネットワーク亀山	災害時アマチュア無線ボランティア	18	16	2
24	在宅福祉ネットワーク愛里寿	地域ネットワーク活動、施設・イベント等協力	94	104	△10
25	しいのみ会	老人施設の草取り、鈴鹿中央病院内活動等	27	28	△1
26	清和友の会	福祉施設ボランティア、市内イベント協力	8	8	0
27	関点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	7	7	0
28	たすけあいクラブ	生活上の困りごとの支援、保健・福祉の勉強会	15	16	△1
29	たんぼぼ	福祉施設ボランティア、こどもボランティア教室等	13	13	0
30	つくしの家ボランティアサークル	福祉施設ボランティア等	10	7	3
31	西日本鉄道OB会ボランティア部	福祉活動、奉仕活動全般	13	13	0
32	バリフタウン推進の会	バリアフリー専門調査員育成、マップの作成	17	15	2
33	福祉サポート隊	障がい者の入浴介助、あいあい周辺の環境整備等	9	8	1
34	文化箏 華音	福祉施設・イベント等での演奏活動	27	27	0
35	ぽっかぽかの会	障がい児（者）の就労の場を作るための各種活動	49	53	△4

36	ボランティアサークルいちご	亀山老健認知症対応型デイサービスボランティア	8	7	1
37	三重パソコン要約筆記サークル ことのは 亀山支部	要約筆記などに関するボランティア活動や啓発講座の実施	2	2	0
38	みっくすどろっぷす	障がい児(者)と家族の交流の場、勉強会の開催等	4	4	0
39	民謡 川崎瀧進絵会	福祉施設・イベント等での演奏活動	16	18	△2
40	八房流南京玉すだれ はり香一座	福祉施設・学校等での南京玉すだれの疲労	6	6	0
41	介護アロマ三重サークル亀山	アロマ精油を使って高齢者施設へ慰問	3		3
42	亀山ピンクリボンの会	手作り乳房パット講習会、体験者の交流	11		11
43	義勇舎(災害支援グループ)	災害支援活動全般	2		2
44	グリーンタウン呼吸嚙下ケアボランティアグループ	在宅療養者の方の食事や買い物等の外出機会を提供する	37		37
45	椿世ひまわり会	町内イベント等の調理や高齢者宅の草刈り等	14		14
	朗読ボランティアしゃくなげの会	「しゃくなげ」等の録音テープ作成		5	△5
	個人ボランティア	災害支援等	7	8	△1
合計			751	712	39

② ボランティア保険

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備としてボランティア保険の加入促進を図りました。

(単位：件、人)

	活動保険	行事保険	送迎保険	福祉サービス 総合補償	送迎サービス 補償
件数	38	51	0	1	1
人数	1,794	2,751	0	12	50

③ ボランティアコーディネーター

ボランティアを必要としている方、また活動を始めたい方などに連絡、調整、斡旋などのコーディネーターを行いました。

(単位：件)

	27年度	26年度	増減
相談件数	32	38	△6

④ ボランティアセンター登録ネットワーク会議

ボランティアセンターに登録している団体を対象に、情報提供及び意見交換、相互の交流を目的に実施いたしました。

実施日 平成28年3月9日(水)

場所 総合保健福祉センター

内容 平成28年度ボランティア登録、活動保険、活動団体助成事業などについて

参加者 27名

⑤ ボランティア養成講座

ボランティア活動に興味を持つ、潜在的なボランティア活動者がボランティア活動を始め
るきっかけ作りを目的に市中央公民館と共催でボランティア養成講座を実施しました。

実施日 平成 27 年 6 月 11 日 (木)
場 所 総合保健福祉センター
協力団体 亀山自助具の会ピノキオ
参加者 8 名

⑥ ボランティア交流会 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティア活動者が意見交換、情報交換を行うことによって、活動の現状や課題について
情報を共有し、活動の活性化を図りました。

実施日 平成 28 年 3 月 9 日 (水)
場 所 総合保健福祉センター
内 容 ボランティアセンター登録団体による活動報告会
①たすけあいクラブ ②亀山自助具の会ピノキオ
参加者 21 名

⑦ 災害ボランティアセンター

○災害ボランティア意見交換会

平成 26 年度に開催した意見交換会に参加された方々、災害ボランティア登録されている個
人を中心に今後の災害時ボランティアの在り方や災害ボランティアセンター設置・運営につ
いて検討していく意見交換会を行いました。

	第 1 回	第 2 回
実施日	平成 27 年 4 月 21 日 (火)	平成 28 年 2 月 2 日 (火)
場 所	総合保健福祉センター	
参加者	7 名	8 名

○市総合防災訓練への参加

市総合防災訓練時において、ボランティア連絡協議会の協力のもと、災害ボランティアセ
ンターについての説明や展示を行いました。

実施日 平成 27 年 11 月 22 日 (日)
場 所 亀山東小学校

⑧ 災害ボランティア支援センター

災害ボランティア支援センターを設置し、ボランティア保険の加入手続き、義援金・支援金の募集などを行いました。台風に伴う警報時発令時に職員を配置し災害ボランティアセンター設置に備えました。

⑨ 福祉ボランティア基金助成配分事業 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティアセンター登録団体又は個人が、社会福祉の向上のために行う福祉ボランティア活動に対して助成を行いました。

(単位：団体、円)

	27年度	26年度	増減
団体数	10	8	2
助成金額	869,600	744,000	125,600

⑩ あいあい祭り 2015 ～であい ふれあい ささえあい～ <福祉ボランティア基金事業>

あいあい祭り実行委員会事務局として、祭りの運営、各種許可申請、会場設営などを担当し、多数のボランティアの協力を得て開催いたしました。

実施日 平成 27 年 10 月 18 日 (日)

場 所 総合保健福祉センター及び医療センター

内 容 ボランティア体験・活動紹介、ボランティア・福祉協力校紹介、模擬店、ステージ発表 など

○実行委員会事務局の運営

1) 準備委員会 平成 27 年 6 月 26 日 (木)

・テーマの選定、実行委員長及び副委員長の選任について

2) 実行委員会

第 1 回 平成 27 年 7 月 30 日 (木)

・あいあい祭り組織図、全体スケジュール等について

第 2 回 平成 27 年 10 月 6 日 (火)

・実施内容の最終確認、事前準備について

第 3 回 平成 27 年 11 月 19 日 (木)

・あいあい祭り 2015 の振り返りについて

3) 代表者会議

平成 27 年 7 月 30 日、8 月 28 日 (全 2 回)

・各部会からの報告及び協議事項、予算について

4) 部会

広報部会 平成 27 年 7 月 30 日、8 月 12 日、8 月 24 日、8 月 28 日、9 月 4 日
(全 5 回)

・ 広報スケジュール、チラシの校正等について

ステージ部会 平成 27 年 7 月 30 日、8 月 28 日 (全 2 回)

・ 司会進行、出演依頼、当日のプログラム等について

会場部会 平成 27 年 7 月 30 日、8 月 24 日、9 月 16 日 (全 3 回)

・ ゴミの回収、会場レイアウト等について

○催し物の実施

あいあい祭り参加団体として、各種団体等の活動紹介パネルの展示等を行い、福祉への関心を高め、思いやりの輪を広げることを目的に実施いたしました。

内 容 ボランティアセンター登録団体パネル展示

福祉協力校パネル展示

ふれあい・いきいきサロンパネル展示

共同募金イベント募金

4 福祉教育推進事業

① 福祉協力校事業 <福祉ボランティア基金事業>

学校内における福祉教育について、車椅子の貸出、ボランティア紹介、助成事業などを行い、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に実施いたしました。

・ 助成事業 計 850,000 円 (@50,000×15 校、モデル校@100,000×1 校)

(単位：校)

小学校	11	亀山西、亀山東、亀山南、井田川、野登、川崎、神辺、昼生、白川、関、加太
中学校	3	亀山、中部、関
高等学校	2	亀山、徳風

○モデル校（神辺小学校）の指定

27 年度よりモデル校（神辺小）を指定し、学校と社協が協働で年間を通じてのプログラムを作成し、下記の内容の事業を行いました。

日程	コマ	対象	内 容
6/24	1.2 限	5 年	清和の里訪問 事前学習
10/2	5.6 限	5.6 年	バリアフリーマップ作り 事前学習
10/17	1~4 限	1~3 年	バリアフリーマップ作り及び福祉体験 【福祉体験：①車椅子体験 ②対話ロボット懐古箱ドク ミャン実演 ③福祉車両「花しょうぶ号」体験】
2/20		5.6 年	子ども向け認知症キッズサポーター養成講座

② 夏休み中学生福祉体験教室 <市補助事業>

夏休みの8月17日(月)～21日(金)【5日間】市内の社会福祉施設において、高齢者や障がい者の方々とふれあい・交流を通じて、福祉に対する理解を深めることを目的に開催いたしました。

(単位:名 ※延べ人数)

施設名	参加者数	施設名	参加者数	施設名	参加者数
安全の里	2	愛の里	4	亀山デイサービスセンター	8
亀寿苑	6	宝寿の郷	10	はなの家	6
野村きぼう苑	2	わだのさと	6	花しょうぶ関センター	10
亀山老人保健施設	8	グループホーム亀山	3	亀寿苑関デｲｯﾌﾟセンター	14
花しょうぶ苑	8	うさぎ亀山	16	なかまの部屋	3
つくしの家	13	グループホーム白鳥	9	亀寿苑川崎デｲｯﾌﾟセンター【新】	6
アスプラン亀山【新】	4	プレミアムデイりんりん【新】	4	合 計	142

③ 街頭募金活動

福祉教育の推進及び地域の福祉活動を行う財源確保を目的に、市内の中学生・高校生が街頭募金活動を実施しました。

(単位:円)

No	日程	学校名	場所	金額	募金名
1	6月17日	徳風高	スーパー2店舗	17,203	福祉ボランティア基金
2	6月19日	亀山高	〃	22,467	〃
3	10月7日	中部中	スーパー1店舗	12,838	共同募金
4	10月18日	亀山高	あいあい祭り	25,981	〃
5	10月21日	関中	スーパー1店舗	20,390	〃
6	11月11日	徳風高	スーパー2店舗	6,939	〃
7	11月16日	亀山高	〃	17,032	〃
8	11月17日	亀山高	食の祭典	7,725	〃
9	11月18日	亀山高	スーパー2店舗	18,947	〃
10	12月5日	亀山高	ヒューマンフェスタ	20,587	〃
11	1月25日	亀山高	亀山大市	22,163	〃
合 計				192,272	

5 ふれあい・いきいきサロン、子育てサロン事業

①ふれあい・いきいきサロン・子育てサロン助成事業 <共同募金配分金事業>

高齢者や障がい者、子育て中の親子を対象とした、地域住民やボランティアが主体となつて、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

(単位：円、名)

		27年度 箇所数	26年度 箇所数	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	43	43	0	860,000	16,734
	新規	8	2	6	240,000	
	計	51	45	6	1,100,000	
子育て	既存	6	8	△2	120,000	2,442
	新規	3	1	2	90,000	
	計	9	9	0	210,000	
合計		60	54	6	1,310,000	19,176

②ふれあい・いきいきサロン交流会 <共同募金配分金事業>

市内のふれあい・いきいきサロンを実施している団体間において、情報交換や交流を深めることにより、サロン活動の充実を図ることを目的に開催いたしました。

実施日 平成 28 年 3 月 7 日 (月)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 サロン団体の活動発表及び意見交換会

①萩の会 (萩原) ②ふらっとほーむののぼり (野登)

参加者 45 団体 69 名

③子育てサロン交流会 <共同募金配分金事業>

小さな子どもを持つ親たちが地域で安心して子育てができるよう、サロン活動を行う上の悩みや解決方法について、意見交換を行うとともに相互の交流を深めました。

実施日 平成 28 年 3 月 10 日 (木)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 ワールドカフェ方式による意見交換会

参加者 5 団体 12 名 (うち主任児童委員 2 名)

6 広報啓発事業

①社協だよりの発行（年4回）

社会福祉協議会が行う事業をはじめ、地区福祉委員会やボランティアなどの地域における福祉活動を市民に啓発するため、年4回、市内全世帯に配布いたしました。

第42号 平成27年 7月1日「特集：生活困窮者自立支援事業」等

第43号 平成27年 10月1日「特集：あなたの街のふれあい・いきいきサロン」等

第44号 平成28年 1月1日「ふくし最前線 特集：廣森 ヨネコさん」等

第45号 平成28年 4月1日「特集：福祉教育一年間のあゆみ」等

②ホームページ・フェイスブックの運営

インターネットを利用して最新の情報や各種募集（助成金など）、社会福祉協議会の概要や活動内容について情報発信を行いました。

（単位：回）

更新回数	27年度	26年度	増減
お知らせ・新着情報	49	49	0
フェイスブック	43		

HPアドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp/>

7 総合相談事業 <市補助事業>

市の法律相談と連携するとともに、相続、遺言、金銭貸借、離婚等の法律に関することに対して公証人経験者による適切な助言、指導を行う法律相談とともに、日常生活上あらゆる心配ごとに応じるため、民生委員児童委員及び学識経験者による心配ごと相談を毎月第2・第4金曜日に開催しました。

（単位：日、件）

	27年度	26年度	増減
開設日数	24	24	0
元公証人による法律相談相談件数	101	113	△12
心配ごと相談相談件数	9	16	△7

○心配ごと相談員研修会（民生委員児童委員連合会合同研修会）

地域でさまざまな問題を抱えた世帯のニーズに応じていくために、相談員の専門知識の習得や関係機関との連絡、連携が不可欠になってきています。今後の心配ごと相談所活動の充実を図ることを目的に研修会を実施しました。

実施日 平成28年2月23日（火）

場 所 総合保健福祉センター

講 演 多重債務相談の現状と対応

講 師 財務省東海財務局 専門相談員 松本 久子

参加者 相談員5名

8 日常生活自立支援事業 <県社協受託事業>

認知症高齢者や知的・精神障がいを持つ方々が地域で安心して生活することを目的に、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行いました。

基幹の社協として三重県社会福祉協議会から事業を受託し専門員を配置し、行政等関係機関との連携を深め、利用者に寄り添ったサービスの提供を行いました。

○相談件数 (単位：件)

	27年度	26年度	増減
認知症高齢者	265	269	△4
知的障がい者	477	470	7
精神障がい者	214	197	17
その他	12	12	0
計	968	948	20

○契約者数 (単位：件)

	27年度	26年度	増減
認知症高齢者	15	12	3
知的障がい者	18	16	2
精神障がい者	7	7	0
その他	1	1	0
計	41	36	5

○生活支援員関係 (単位：名、回)

	27年度	26年度	増減
生活支援員	14	13	1
派遣回数	771	751	20

○生活支援員研修会

サービス提供に必要な知識及び技術の向上を図るため生活支援員を対象に研修会を実施いたしました。

実施日 平成28年3月11日(金)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 認知症の正しい理解について

講 師 亀山地域包括支援センターきずな 主任介護支援専門員 中川 陽亮

参加者 11名

9 生活困窮者自立支援事業 <市委託事業>

27年度より社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱えた方への相談支援をはじめ、きめ細やかな支援の体制づくりを行っていくことを中心とした「生活困窮者自立支援法」が施行され、亀山市より自立相談支援事業（必須事業）及び家計相談支援事業（任意事業）を受託しました。専門員3名を配置し、相談者の生活課題を把握・整理し課題の解決に向け、相談者の状況に応じた包括的・伴走的な支援を行いました。

○相談実績

	27年度
新規相談件数	144
延べ相談件数	373
プラン作成件数	20
家計相談支援利用件数	5
支援中断	1
支援終了	3

(単位：件)

○年代別構成

	27年度
10～20代	18
30～40代	49
50～60代	56
70代～	21

(単位：名)

○区分（重複あり）

	27年度
高齢者	40
母子家庭	19
障がい者	37
外国人	15
その他	75

(単位：名)

○支援調整会議の開催

相談者に対する支援プランの適切性、進捗状況、終了時の評価等について協議するために、毎月1回開催しました。必要に応じて市役所の関係部局、関係機関にも参加要請を行い、連携を図りました。

○事業の周知・啓発

事業の周知・啓発活動として、チラシを作成するとともに、市役所の関係部局、まちづくり協議会、民生委員・児童委員をはじめ関係機関・団体等に事業説明を行いました。

説明回数 計40回

○相談業務担当職員研修会

相談業務に従事する市・社協職員の資質向上を図るため、相談事例に関する研修を開催しました。

実施日 平成28年2月23日（火）

場 所 総合保健福祉センターあいあい

内 容 多重債務相談の現状と対応

講 師 財務省東海財務局 専門相談員 松本 久子

参加者 23名

10 貸付相談及び貸付事業

低所得や障がいなど複合的な問題を抱えたケースが増加していることから、従来の生活福祉資金貸付相談をはじめ多重債務相談や住宅支援相談等、より実情に応じた様々な相談に対し、包括的かつ柔軟な対応に努めています。

① 生活福祉資金等貸付相談及び貸付業務 < 県社協受託事業 >

三重県社会福祉協議会が行う低所得者、高齢者、障がい者などに対する生活福祉資金の貸付に関して業務の一部を受託し、経済的自立や生活意欲の助成促進、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に実施いたしました。

(単位：件)

	27年度	26年度	増減
相談件数	119	186	△67
貸付件数	16	17	△1
長期滞納者の面談	0	0	0

貸付残高件数（平成28年3月31日現在）

(単位：件)

	27年度	26年度	増減
総合支援資金（生活支援費）	33	34	△1
緊急小口資金	48	42	6
臨時特例つなぎ資金	2	3	△1
福祉資金（その他）	9	13	△4
合計	92	92	0

② 福祉金庫貸付業務

市内の生活困窮者に対して、緊急を要する資金として上限30,000円の貸付を行うことにより、円滑な社会生活を送れるようにすることを目的に貸付事業を実施いたしました。

(単位：件、円)

		27年度	26年度	増減
貸付	件数	3	8	△5
	金額	90,000	240,000	△150,000
償還	件数	27	36	△9
	金額	86,000	335,000	△249,000

貸付残高件数（平成28年3月31日現在）

(単位：件)

	27年度	26年度	増減
福祉金庫	17	17	0

1.1 緊急食糧等提供事業

27年度より、市内在住の低所得者等が、緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった場合に食糧等の生活に必要な現物等を提供し、自立に向け社会生活が送れるよう支援を行いました。

(単位：件)

	27年度
生活困窮者支援緊急食糧提供事業（県社協）	34
緊急時物品等支援事業（県社協）	2
亀山市社協災害時等備蓄品	19

1.2 あんしん賃貸支援事業 <三重県居住支援連絡会助成事業>

高齢者、障がい者世帯等の入居を受けられる民間賃貸住宅に関する情報などを提供し、住居の安定確保と安心できる賃貸借関係の構築を目的に居住支援を行いました。

各種会議への参加	三重県居住支援連絡会議	2回
	〃 作業部会	4回
	居住支援フォーラム	1回
	住宅相談会	1回

1.3 各種福祉事業

① 高齢者支援

○あいあい笑顔のつどい <共同募金配分金事業>

市内ひとり暮らし高齢者（75歳以上）を対象に、亀山高等学校総合生活科生徒、ボランティア団体、昼生保育園児、亀山愛児園児などの協力による歌や演奏、健康相談及び温泉入浴などを実施し、計236名に参加していただきました。（昨年度より40名増）

	A地区	B地区
実施日	平成27年11月10日（火）	平成27年11月24日（火）
対象	75歳以上のひとり暮らし高齢者905名	
場所	総合保健福祉センター2階教養娯楽室	
参加者	107名	129名

※A地区 城東、御幸、城北、本町、北東、東部、川崎、井田川北、井田川南

B地区 城西、野村、天神・和賀、南部、昼生、白川、神辺、野登、関宿、北部、関南部、加太、坂下

○高齢者軽度生活援助事業 <市受託事業>

在宅のひとり暮らし高齢者などが、軽度生活援助員から軽易な日常生活上の援助を受けることにより、要介護状態への進行を防止することを目的に事業を実施いたしましたが、利用実績はありませんでした。

○団体助成

- | | | |
|--------------------|-----------|-----------|
| 1) 老人福祉フェスティバル事業 | (市補助金) | 220,000 円 |
| 2) 交通費助成 | (市補助金) | 362,880 円 |
| (老人福祉フェスティバル貸切バス代) | | |
| 3) 亀山市老人クラブ連合会 | (共同募金配分金) | 430,000 円 |

○安心見守り訪問事業 <歳末たすけあい配分金事業>

市内在住の 75 歳以上ひとり暮らし高齢者の世帯に対し、地区福祉委員会による見守り訪問活動を行い、災害用非常食を配布しました。

実施地区 25 地区

実施期間 平成 27 年 12 月～平成 28 年 2 月

(単位：件)

	27 年度	26 年度	増減
配布数	875	858	17

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

措置施設入所者（無年金）、契約施設入所者（無年金） 0 件 ※該当者なし

② 障がい児（者）支援

○障がい児社会見学 <共同募金配分金事業>

市内在住の障がい児を対象に、見聞を広め相互の親睦を図ることを目的に社会見学事業を実施いたしました。

実施日 平成 27 年 7 月 11 日（土）

行 先 滋賀県 ヤンマーミュージアム見学、黒壁ガラス館散策

参加者 30 世帯 87 名

○団体助成

- | | | |
|------------------|-----------|-----------|
| 1) 亀山市身体障害者福祉協会 | (市補助金) | 940,600 円 |
| " | (共同募金配分金) | 200,000 円 |
| 2) 亀山市特別支援教育振興会 | (共同募金配分金) | 130,000 円 |
| 3) かめやま障害児者を支える会 | (共同募金配分金) | 80,000 円 |
| 4) みっくすどろっぷす | (共同募金配分金) | 150,000 円 |

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

特別児童扶養手当受給者	99 件	297,000 円
障害児福祉手当受給者	2 件	6,000 円
特別障害者手当受給者	15 件	45,000 円
福祉手当受給者	1 件	3,000 円
合計	117 件	351,000 円

③ 子育て支援

○子育て応援！はじめての親子りょうり教室 <共同募金配分金事業>

子育てサロン「ママクッキング」と共催で、2歳児から就学前の幼児とその保護者を対象に料理教室を行い、料理を通して親子の絆を深めると同時に、子育て中の親子の交流と子育てサロンへの参加の促進を図りました。

実施日 平成27年12月25日（金）

場 所 総合保健福祉センター

参加者 8家族22名

○入学祝金 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭新入学児童生徒への祝金 1名 3,000円

○修学旅行補助 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭小中学校修学旅行補助 5名 15,000円

○団体助成

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1) 亀山市子ども会育成者連絡協議会（共同募金配分金） | 60,000円 |
| 2) 亀山市母子寡婦福祉会（市補助金） | 528,000円 |
| ”（共同募金配分金） | 150,000円 |

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

準援護家庭	257件	771,000円	
施設入所児童	0件	0円	※該当者なし
合計	257件	771,000円	

④ 低所得者支援

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい援護事業>

生活保護世帯 162件 364,000円

12 共同募金会との連絡及び協力

① 赤い羽根共同募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	27年度 実績額	達成率	26年度 実績額	増減額	前年比
10月～12月	6,414,700	5,975,611	93.2	6,139,930	△164,319	97.3

② 歳末たすけあい募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	27年度 実績額	達成率	26年度 実績額	増減額	前年比
10月～12月	2,100,000	2,000,126	95.2	1,901,668	98,458	105.2

③ 亀山市共同募金委員会運営委員会の開催

第1回 平成27年6月11日(木) 出席者8名

議 題

- 1) 運営委員の辞任に伴う後任の選任について
- 2) 審査委員の辞任に伴う後任の選任について
- 3) 副会長の選任について
- 4) 平成26年度事業報告及び一般会計収支決算について
- 5) 平成27年度(平成28年度充当)一般募金配分申請について
- 6) 平成27年度歳末たすけあい募金配分申請について

第2回 平成28年3月16日(水) 出席者7名

議 題

- 1) 平成28年度事業計画並びに一般会計収支予算について
- 2) 任期満了に伴う運営委員及び監事の選任について
- 3) 任期満了に伴う審査委員の選任について

(事業評価・今後の課題)

地域福祉計画及び地域福祉活動計画の実現に向け、27年度は地域福祉計画推進委員会で進捗管理や評価等について協議するとともに、第2次計画策定に向け、社協職員及び市職員の認識を共有することを目的にした研修会を開催しました。また、小地域ネットワーク活動事業では、各地区に地域福祉の推進役として福祉委員を設置していただき、見守り・訪問活動等をおこなっています。福祉委員新任研修会をはじめ、27年度は地区福祉委員会で中心となって活動されている方を対象に全体的な地域福祉活動の向上を図ることを目的に意見交換会を開催しました。今後は第2次地域福祉活動計画の策定に向け、地区福祉委員会、福祉関係団体を中心にヒアリング等福祉の現状等の情報共有を行ってまいります。

ふれあい・いきいきサロンについて、新規で8ヶ所増加し、51か所でサロン活動を展開していただいています。今後も地域の実情に応じた居場所づくりの推進のため福祉活動を支援します。

ボランティア事業については、27年度は、新たに5団体がボランティアセンターに登録し、登録者数が前年度と比較して39名増加しました。ニーズに応じたボランティア依頼のマッチングを行うとともに、中央公民館と共催でボランティア講座を開催しました。

福祉教育推進事業において、毎年開催している中学生福祉体験教室を実施し、市内福祉施設のご協力により、充実した福祉体験の場を提供することができました。また、市内の学校に様々な体験やボランティア活動を通じて、福祉に対する関心を高めることを目的に福祉協力校事業を実施しています。27年度は神辺小学校をモデル校に指定し、学校と協働で年間プログラムを作成し、福祉教育の更なる充実に取り組みました。

個別の相談支援事業として、27年度より開始した生活困窮者自立支援事業（市委託事業）では、相談件数が当初想定していたより多く、低所得や社会的孤立など複合的な問題を抱えたケースもあり、ニーズの高さが伺えました。引き続き日常生活自立支援事業や貸付事業をはじめ、28年度より市から受託する、成年後見制度の活用促進も含め、総合保健福祉センターの機能を活かし、行政をはじめとする関係機関と連携を密にしながら、包括的かつ柔軟に対応し、利用者に寄り添いながら専門職として質の高い支援ができるように努めます。

共同募金事業については、運営委員、自治会、民生委員児童委員等のご協力のもと戸別募金や法人募金、また中学校や高校と連携して街頭募金やイベント募金など広く募金活動を実施しました。多種多様な募金を実施されているなか、全国的には赤い羽根共同募金の実績額は年々減少していますが、前年度並みの実績額が確保されました。今後も民間の地域福祉事業推進のための募金という趣旨に基づき、住民の理解を十分に得ながら募金活動を行うとともに、寄せられた共同募金をより有効に活用するため、地域の方々や福祉関係者と一緒に考えながら事業を展開していきます。

3 在宅福祉サービス事業（在宅福祉係）

1 訪問介護・居宅介護事業

【訪問介護員（ホームヘルパー）数】（平成 28 年 3 月 31 日現在）

・常勤訪問介護員 4 名 <前年度 4 名> ・登録訪問介護員 13 名 <前年度 15 名>

①介護保険制度

○訪問介護事業

要介護認定を申請し、要介護・要支援と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		27 年度	26 年度	増減
利用延べ人数		756	768	△12
派遣延べ回数		11,159	9,852	1,307
事業収入		35,526,396	30,608,081	4,918,315
派遣時間数		7,981	7,147.5	833.5
内 訳	介護（身体介護・生活援助）	6,380	5,504	876
	介護予防	1,601	1,643.5	△42.5

②障害者総合支援制度

○居宅介護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる居宅介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		27 年度	26 年度	増減
利用延べ人数		346	346	0
派遣延べ回数		3,883	3,602	281
事業収入		11,831,000	9,772,303	2,058,697
派遣時間数		2,941	2,656	285

○同行援護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた視覚障害の方に、外出するための移動支援を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		27 年度	26 年度	増減
利用延べ人数		14	2	12
派遣延べ回数		21	3	18
事業収入		66,733	31,392	35,341
派遣時間数		26	10.5	15.5

③地域生活支援事業＜市委託事業＞

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に外出するための移動支援を行いました。

(単位：名、件、円、時間)

	27年度	26年度	増減
利用延べ人数	12	12	0
派遣延べ回数	297	310	△13
事業収入	754,380	787,400	△33,020
派遣時間数	148.5	155	△6.5

2 居宅介護支援事業

【介護支援専門員（ケアマネジャー）数】（平成28年3月31日現在）

・介護支援専門員 5名 <前年度6名>

①介護給付費 <介護保険制度>

要介護（1～5）・要支援（1,2）と認定された利用者や家族等の意見をふまえたケアプランを作成し、居宅サービス計画に基づき在宅サービス事業者との連絡調整を行いました。

(単位：件、円)

月	介護給付		予防給付	
	件数	金額	件数	金額
4	110	1,795,124	18	86,892
5	112	1,840,804	17	76,160
6	117	1,912,918	16	71,680
7	114	1,848,627	16	71,680
8	113	1,836,958	17	79,286
9	112	1,825,174	18	83,766
10	111	1,803,782	18	83,766
11	109	1,781,026	17	79,286
12	104	1,694,209	18	80,640
1	103	1,680,226	18	83,766
2	98	1,598,619	19	88,246
3	98	1,617,000	17	76,160
過年度分		4,593		0
合計	1,301	21,239,060	209	961,328
月平均	108	1,769,921	17	80,110
26年度	1,409	21,139,322	190	821,318
増減	△108	99,738	19	140,010

②受託金収入

鈴鹿亀山地区広域連合及び他市町村より要介護認定調査の委託を受け、対象者の住居を訪問し、心身の状態について面接調査を行いました。

(単位：件、円)

月	認 定 調 査	
	件 数	金 額
4	1	5,400
5	14	75,600
6	27	145,800
7	23	124,200
8	20	108,000
9	19	102,600
10	23	124,200
11	27	145,800
12	19	102,600
1	24	129,600
2	20	108,000
3	24	129,600
合 計	241	1,301,400
月平均	20	108,450
26年度	288	1,555,200
増 減	△47	△253,800

(事業評価・今後の課題)

在宅福祉サービス部門として、ホームヘルパー（訪問介護）及びケアマネージャー（居宅介護支援）の事業所を運営しています。

訪問介護事業につきましては、介護保険制度における訪問介護事業所、予防訪問介護事業所、障害者総合支援制度における障害者居宅介護事業所、障害者同行援護事業所を運営しており、常勤ヘルパー及び登録ヘルパーが食事、排泄、入浴、調理、洗濯、移動支援など生活全般にわたる援助を行いました。

運営面において前年度と比較すると訪問介護事業は、平成 27 年 4 月に行われた介護報酬改定により、1 件あたりの単価が上昇したこと、また、常勤職員の補充を行い人員体制が整ったことから新規件数を積極的に獲得したため、訪問介護の事業収入が増加しました。障害者居宅介護事業についても、上記と同じ要因によって事業収入が増加しました。今後も新規ケースを積極的に受けるとともに、ケース会議を実施し情報の共有に努め、サービスの質の向上を図ってまいります。

居宅介護支援事業につきましては、介護支援専門員が介護保険制度において、要支援、要介護認定を受けた方の心身の状態や希望に応じてサービス利用計画（ケアプラン）を作成し、医療等関係機関や介護サービス事業者との連絡調整を行っています。利用者の要望や満足度を知るためにアンケート調査を行いました。その結果を今後のサービス改善の参考にさせていただき、これからもより一層安心してご利用いただけるようサービスの質の向上に努めてまいります。運営面については、常勤職員の退職等の要因により新規件数が少なかったため、利用件数は減少しましたが、介護報酬改定により 1 件あたりの単価が上昇したため、事業収入は前年度に比べ若干増加しました。28 年度は常勤職員の補充を行い安定した運営に向けて努力をしていきます。

訪問介護事業所及び居宅介護支援事業所の両事業所について、将来にわたって安定した運営を行っていくため、中長期的な視点に立ち、計画的な人員配置を行っていく必要があります。また、研修やミーティングの充実を図り、職員の資質向上に取り組み、利用者から信頼され選ばれる事業所を目指します。

4 在宅福祉サービス事業（障がい福祉係）

【指定障害福祉サービス多機能型事業所「つくしの家」】

1 生活介護事業

利用者やその家族が希望する生活を大切に、個別支援計画に基づき介護や行事、創作的活動、交流活動、余暇活動等を行いました。また軽作業等の生産活動も行いました。

①職員配置

(単位：名)

職名		つくしの家	なかまの部屋	
管理者・サービス管理責任者(兼務)		1		
医師		1		
看護師		1		
生活支援員	常勤	正規	0	1
		嘱託	0	1
		非常勤	4	2
	非常勤(登録)	1	1	

②利用実績

1) つくしの家（主たる事業所：定員 15 名）

(単位：名、日、円)

	27 年度	26 年度	増減
利用者数	15	16	△1
延べ利用日数	3,318	3,389	△71
事業収入	23,069,204	24,352,224	△1,283,020

2) なかまの部屋（従たる事業所：定員 10 名）

(単位：名、日、円)

	27 年度	26 年度	増減
利用者数	11	9	2
延べ利用日数	2,019	1,634	385
事業収入	15,626,052	13,406,578	2,219,474

③創作的活動（年間行事）

季節に応じた行事等を経験し、見識を広めることで利用者が余暇を楽しむことができるよう支援するとともに様々な場面や変化に順応できる力を伸ばせるよう支援しました。

1) つくしの家（主たる事業所）

実施月日	行事名	場所
5月 7日	季節の行事（藤見学）	太厳寺
5月 22日	ショッピング	鈴鹿イオン
6月 4日	季節の行事（菖蒲園散策）	亀山菖蒲園
6月 26日	社会見学	郡上八幡
7月 2日	季節の行事（七夕）	つくしの家
8月 12日	季節の行事（夏祭り）	つくしの家
8月 18日	あいあい入浴日	白鳥の湯
8月 31日	プール	B&G 海洋センター
10月 1日	季節の行事（バーベキュー）	つくしの家
11月 20日	季節の行事（カラオケ）	鈴鹿シダックス
12月 25日	忘年会	コビアン&つくしの家
1月 7日	季節の行事（新年会）	つくしの家
1月 15日	利用者健康診断	つくしの家
2月 3日	季節の行事（節分）	つくしの家
3月 8日	あいあい入浴日	白鳥の湯
年 2 回 嘱託医師による定期健診 週 1 回 看護師によるバイタルチェック（検温、体重測定、血圧測定、健康相談等） 月 1 回～3 回 音楽クラブ、絵画クラブ、パソコンクラブ、手芸 月 1 回 外食または喫茶の日（ガスト、コビアン他） 年 5 回 調理の日 年 5 回 避難訓練（内 2 回は全館避難訓練） 余暇活動（ウォーキング等の軽運動、カラオケ、物づくり等）		

2) なかまの部屋（従たる事業所）

実施月日	行事名	場所
4月 9日	季節の行事（花見）	観音山芝生公園
4月 17日	新規利用者歓迎会	なかまの部屋
6月 12日	季節の行事（菖蒲園散策）	亀山菖蒲園
6月 25日	外食の日	あいづや
7月 30日	お楽しみ会	なかまの部屋
8月 11日	季節の行事（流しそうめん）	なかまの部屋
8月 18日	あいあい入浴日	白鳥の湯
8月 27日	季節の行事（川涼み）	落合の郷（津市）
9月 10日	外食の日	ウーノボーノ
9月 25日	季節の行事（バーベキュー）	なかまの部屋

2月19日	三重大生との交流会	つくしの家
2月24日	保護者との交流会	つくしの家
3月2日	感謝の集い	つくしの家
3月18日	白川小卒業式出席	白川小学校
月1回	三重大生によるレクリエーション	

2) なかまの部屋 (従たる事業所)

実施月日	行事名	場所
5月29日	関地区民生委員との交流会 (ボーリング大会)	アピナ鈴鹿
6月1日	中学生職場体験受入(5日間)	なかまの部屋
7月2日	関地区民生委員との交流会(七夕茶会)	なかまの部屋
8月4日	放課後児童クラブとの交流会(合同避難訓練)	放課後児童クラブ園庭
8月17日	中学生福祉体験教室(3日間)	なかまの部屋
10月8日	障害者福祉協会主催スポーツ大会参加	あいあい芝生広場
10月31日	ナイスハートふれあいスポーツ広場参加	東野公園体育館
11月5日	保護者との交流会(秋を楽しむ会)	なかまの部屋
12月24日	関地区民生委員との交流会(クリスマス会)	健康づくり関センター
1月6日	放課後児童クラブとの交流会(焼き芋会)	放課後児童クラブ園庭
2月25日	関地区民生委員との交流会(感謝の会)	なかまの部屋

⑤生産活動

機能訓練の一環として、一人ひとりにあつた軽作業を行い、達成感や自信が持てるよう支援しました。

1) つくしの家 (主たる事業所) (単位:円)

種類	作業内容	事業収入	
		27年度	26年度
受託作業	<ul style="list-style-type: none"> ろうそく箱詰め 葬儀用造花作り 電子部品等組立 	401,977	451,023

2) なかまの部屋 (従たる事業所) (単位:円)

種類	作業内容	事業収入	
		27年度	26年度
受託作業	<ul style="list-style-type: none"> ろうそく箱詰め 100円ショップ等の商品 	190,487	272,673

2 就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生産活動をとおして知識及び能力の向上を目指し、社会の一員としての自覚と意欲につながる支援を行いました。

①職員配置 (単位：名)

			つくしの家
管理者・サービス管理責任者（兼務）			1
職業指導員	常勤	正規	1
生活支援員	常勤	非常勤	1
	非常勤（登録）		1

②利用実績 (単位：名、日、円)

	27年度	26年度	増減
利用者数	6	6	0
延べ利用日数	1,408	1,442	△34
事業収入	8,254,486	8,081,934	172,552

③生産活動 (単位：円)

種類	作業内容	事業収入	
		27年度	26年度
受託作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子部品等組立 ・ 葬儀用造花作り ・ ローソク等箱詰め ・ 書類封入作業 ・ 草刈り作業 ・ ゴムのバリ取り・検品 ・ 100円ショップ商品等の組立・パッケージング 	597,825	633,398
自主製品	手作り小物等	47,850	59,500
合計		645,675	692,898

10月22日	保護者との交流会	つくしの家
10月31日	ナイスハートふれあいスポーツ広場参加	東野公園体育館
11月13日	絵画展（2週間）	山小屋カフェ望仙荘
11月18日	白川小ふれあい集会打合せ	つくしの家
11月26日	白川小ふれあい集会	白川小学校
2月19日	三重大生との交流会	つくしの家
2月24日	保護者との交流会	つくしの家
3月2日	感謝の集い	つくしの家
3月18日	白川小卒業式出席	白川小学校
月1回	三重大生によるレクリエーション	

3 実習生の受入

卒業後の進路を考慮し体験できるよう、杉の子特別支援学校 石薬師分校及び城山特別支援学校の生徒3名の現場実習を受け入れました。【つくしの家（生活介護・就労継続支援B型）及びなかまの部屋（生活介護）】

4 社会福祉センターの運営 〈市補助事業〉

【年間利用状況〈3階集会室〉】

（単位：件、名）

	27年度	26年度	増減
利用件数	177	325	△148
利用人数	4,767	6,949	△2,182

【工事及び修繕の執行状況】

工事名	契約年月日	完成年月日
トイレ等改修工事	平成27年10月9日	平成28年3月7日
その他 6か所修繕		

(事業評価・今後の課題)

「つくしの家」「なかまの部屋」では、個別支援計画に基づき利用者の個性を生かした日中活動の場を提供してきました。

生活介護事業は生活支援や身体介助を中心に、余暇活動の充実を図り、利用者及び保護者の望む将来の生活へうまく移行できるよう、きめ細やかな生活支援を行ってきました。利用者の中には不安定行動をとり対応が難しい方もみえますが、相談支援センターや医療機関と連携し、本人及び他の利用者の事故等の防止に配慮し、安定した生活が送れるよう支援しています。今後も利用者に寄り添った個別支援を進めてまいります。

生活介護事業の運営面においては、つくしの家では、利用者の減に伴い、事業収入が減少しましたが、なかまの部屋では、特別支援学校の職場実習を積極的に受け入れたことにより、新規利用者が増え、安定した事業運営ができています。

就労継続支援 B 型事業は受託作業等とおし、就労に向けた作業能力や知識の向上、仕事をする上でのルールやマナーの支援を行いました。就労を望んでみえる方には情報を提供していくとともに、今後も個々の能力に合わせた作業能力向上や就労支援体制の充実に努めていきます。

就労継続支援 B 型事業の運営面では、24 年度に事業所へ移行してからも新規の利用者は少なく、今後の事業運営について検討していく必要があります。

28 年度より、新規事業として特定相談支援事業及び障害児相談支援事業を開始するため、27 年度から開所に向けて、事務所の整備や職員研修等の諸準備を行ってきました。今後も利用者に対し、質の高いサービスを提供できるよう全職員に外部研修を積極的に受講させるとともに、事業所内で介護技術の講習やケース会議など情報の共有を図り職員の資質向上に取り組んでいきます。

社会福祉センターの管理運営につきましては、3 階の集会室を福祉関係団体等の方々に会議やレクリエーションなどに活用していただいております。27 年度はトイレ改修や集会室照明設備改修に加え、会議用机や椅子等の整備を行いました。28 年度は駐車場の整備や 2 階会議室等の改修を行う予定でありますので、今後もこれまで以上に施設を利用しただけのようホームページ等により情報を発信し、広報啓発に努めていきます。

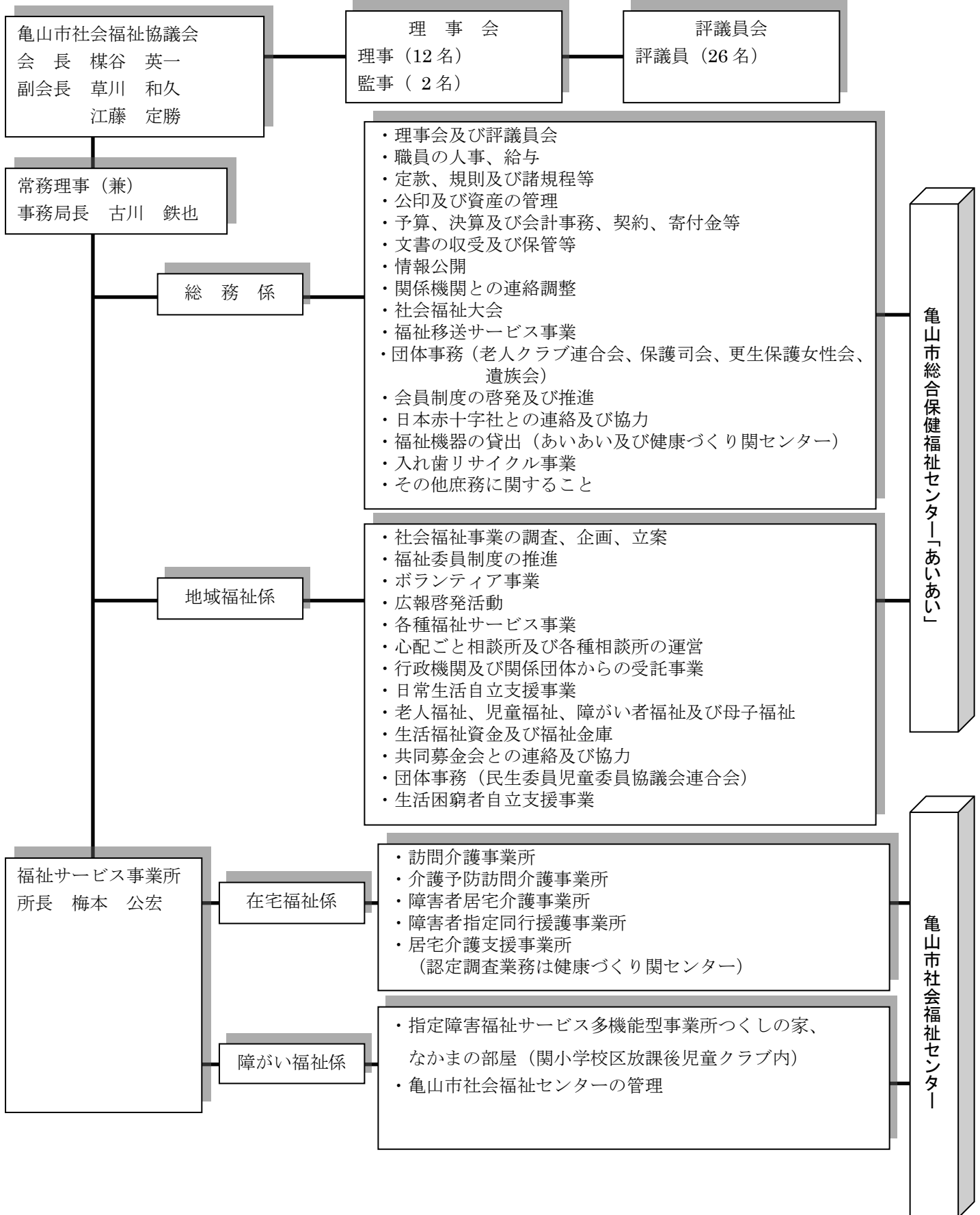
5 その他

①関係機関への協力、参加

(単位：回)

委員会名	実施主体	回数/年	担当
市民活動応援制度審査検証委員会	市民文化部 共生社会推進室	3	藤本
地域福祉計画推進委員会	健康福祉部 地域福祉室	1	古川
亀山市地域自立支援協議会	健康福祉部 高齢障がい支援室	2	加藤 歙田
亀山市地域自立支援協議会 (ワーキング委員)	健康福祉部 高齢障がい支援室	3	加藤
高齢者・障がい者虐待防止対策代表者会議	健康福祉部 高齢障がい支援室	1	古川
介護認定審査会	鈴鹿亀山地区広域連合	18	出口
介護保険運営委員会	鈴鹿亀山地区広域連合	3	出口

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会組織・事務機構図



亀山市総合保健福祉センター「あいあい」

亀山市社会福祉センター